

第7回富田林市立地適正化計画策定委員会議事録

産業まちづくり部都市計画課

- 1 開催日時 令和5年1月24日（火）午後3時00分～午後3時45分
- 2 開催場所 富田林市役所3階 庁議室
- 3 出席者 **【委員】** 増田委員、置田委員、佐久間委員、地下委員、山元委員
【計5人出席】（船本委員、柳原委員、武田委員は欠席）

【事務局】 森木部長、福元課長、田中課長代理、奥西、荒木

【業務委託業者】 ㈱都市・計画・設計研究所 小松
- 4 開催形態 公開（傍聴人1人）
- 5 次第
 - (1) 富田林市立地適正化計画（案）及びパブリックコメントの結果報告について
 - (2) 今後のスケジュールについて
- 6 策定委員会の経過
 - 第1回 令和3年8月24日
 - (1) 立地適正化計画の策定方針について
 - (2) 富田林市の現状と将来見通しについて
 - 第2回 令和3年11月19日
 - (1) 第1回委員会での主な意見と対応について
 - (2) 立地適正化計画の基本方針、誘導区域の設定方針について
 - 第3回 令和4年2月7日～令和4年2月24日（書面開催）
 - (1) 第2回委員会での主な意見と対応について
 - (2) 立地適正化計画の誘導施策について
 - 第4回 令和4年6月1日
 - (1) 第3回委員会での主な意見と対応及びアンケート結果について
 - (2) 防災指針について
 - (3) 目標値の設定及び計画の進行管理について
 - 第5回 令和4年8月4日
 - (1) 第4回委員会での主な意見と対応及び修正について
 - 第6回 令和4年10月27日～令和4年11月4日（書面開催）
 - (1) 富田林市立地適正化計画（素案）の追加・修正箇所について

7 策定委員会の結果等 全文筆記

8 策定委員会配布資料

会議次第

資料1 富田林市立地適正化計画（素案）

資料2 富田林市立地適正化計画（素案）概要版

資料3 富田林市都市計画マスタープラン表紙

資料4 策定スケジュール

追加資料1 富田林市立地適正化計画表紙案

追加資料2 富田林市立地適正化計画新旧対照表

追加資料3 富田林市立地適正化計画（素案）に対するパブリックコメント実施結果について

【事務局：田中】

それでは、定刻となりましたので、ただいまから第7回富田林市立地適正化計画策定委員会を開催させていただきます。課長代理の田中です。おそれいりますが、着座にて進めさせていただきます。

委員の皆様方には、大変お忙しいところ、また、新型コロナウイルス感染症拡大が続く厳しい状況の中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力を賜りましたことを、重ねてお礼申し上げます。

それでは、まず、お手元の資料の確認をさせていただきます。会議次第、資料1～4をご用意させていただいております。また、本日追加資料として、追加資料1～3をテーブルにご用意させていただいております。配布資料に漏れなどはございませんでしょうか。

なお、船本委員、柳原委員、武田委員におかれましては、本日は所要のためご欠席とのご連絡をいただいております。

次に、本日の会議につきましては、委員総数8名中、5名の委員の方にご出席をいただいておりますことをご報告させていただきます。また、本委員会の議事につきましては、本市の「会議の公開に関する指針」により公開することとなっておりますので、会議録作成のため録音させていただきますことを、あらかじめご了承願います。

なお、本日は、1名の傍聴を希望される方がお越しになっており、既に入室していただいておりますことをご報告させていただきます。傍聴される方にお願います。本日の委員会の資料といっしょに配布しています『会議の傍聴に係る遵守事項』を守り、議事の円滑な運営にご協力をお願いします。

それでは、以後の進行につきましては、増田会長をお願い申し上げます。会長、よろしくお願います。

【議長：増田会長】

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。ただいまより、第7回富田林市立地適正化計画策定委員会を始めさせていただきます。お手元の会議

次第にございますように、本日は案件が2件でございます。

それでは、次第2「(1) 富田林市立地適正化計画(案)及びパブリックコメントの結果報告について」、事務局より説明をお願いします。

【事務局：奥西】

都市計画課の奥西です。よろしくお願い致します。

それでは、次第2「(1) 富田林市立地適正化計画(案)及びパブリックコメントの結果報告について」、ご説明させていただきます。資料1「富田林市立地適正化計画」、資料2「富田林市立地適正化計画(概要版)」、資料3「富田林市都市計画マスタープラン表紙」及び追加資料1をお願いします。

まず、表紙のデザイン及び市長あいさつについて、ご説明させていただきます。表紙につきましては、立地適正化計画が、都市計画マスタープランの高度化版とされています。このことから、資料3の都市計画マスタープランの表紙のデザインに合わせて、本計画の表紙は色を反転させ、本市のカラーであるえんじ色、文字を白色としています。また、表紙中央にあります市域図の中に4つの都市機能誘導区域を点線で表示しようと考えておりましたが、先日増田会長に表紙案を確認いただきましたところ、居住誘導区域も表示した方が良くのご指摘をいただきましたので、本日お配りしています追加資料1のとおり、居住誘導区域及び都市機能誘導区域を表示した表紙をご用意しました。追加資料1をお願いします。市域図内に表示している区域図がはっきりしすぎているので、もう少しぼかして大まかなもので表示するか、もしくは資料3のマスタープランの表紙のように、市域図のみで、中には何も表示しないようにするか、どのように表示した方がいいのかについて、後ほど各委員にご議論いただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

次に、周りのデザインにつきましては、一番下の建物は、本市を代表する重要文化財の「旧杉山家住宅」、その左隣は市の木の「楠」、そのまた左は市の花の「つつじ」、右隣は「二上山」、そのまた右隣はオリックスバッファローズの2軍戦も実施される総合スポーツ公園です。電車・バスは、それぞれ「近鉄電車」、「南海電車」、「金剛バス」を、また、市の特産品である「なす・海老芋・きゅうり」、秋祭りの「だんじり」、「富田林病院」、「PLの塔」などをデザインしています。

次に、資料1計画書本編の表紙を1枚めくっていただきますようお願いいたします。吉村市長のあいさつ文を追加しました。

次に、同じ資料の120ページをお願いします。資料編として、検討体制、検討経過及び用語解説を追加しました。

また、お配りしています、資料1計画書本編及び資料2計画書概要版につきましては、パブリックコメント実施前に字句の言い回し、誤字・脱字、資料の出典の表記の統一等の修正を行っています。そのほか、計画書の内容について、2点加筆・修正しましたので、ご報告させていただきます。

資料1計画書本編の4ページ、資料2計画書概要版の1ページ及び追加資料2の新旧対照表の1ページをお願いします。1点目の修正は、「6. 目標年次」についてです。当初は、令和4年の年内までに、都市計画審議会での意見聴取、公表を予定して

いましたので、目標年次を令和24年、2042年としていましたが、内容に関する再検討の時間を要しましたことから、公表予定が令和5年3月となりますので、目標年次を令和25年、2043年に修正させていただきました。

これに伴い、資料2計画書概要版をふくめ、目標年次について記載のあるページについては、同様の修正を行っております。具体的には追加資料2新旧対照表の1ページ、2ページ及び3ページの目標年次に関する箇所となります。

次に、資料1計画書本編の4ページをお願いします。2点目の修正は、「7. SDGsとの関わり」についてです。本市では令和元年に、「富田林版SDGs取組方針」を策定し、市政の各分野にSDGsの要素を反映した取組を推進していますことから、立地適正化計画においてもSDGsとの関わりについて追記しました。以上が加筆・修正点となります。

続きまして、「富田林市立地適正化計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について」、ご説明させていただきます。追加資料2及び追加資料3をお願いします。

パブリックコメントの実施方法につきましては、昨年12月の市広報誌及び市ウェブサイトにて周知を行い、12月1日～12月28日の約1ヵ月間、意見募集を行いました。閲覧方法としましては、市役所本庁舎、金剛連絡所、各図書館、各公民館、すばるホール等の公共施設の本市全施設19箇所及び市ウェブサイトにて閲覧いただけるよう対応させていただきました。

次に、提出されたご意見は、お一人の方から4件いただいております。4件のご意見と市の考え方について、ご説明させていただきます。なお、これにつきましても、事前に増田会長とお打ち合わせ、ご助言をいただいた内容となっております。提出されたご意見と市の考え方につきましては、追加資料3を使用してご説明致します。ご意見を踏まえた計画書の修正箇所につきましては、追加資料2のとおりとなっておりますので、あわせてご覧いただきますようお願いします。

それでは、追加資料3の1ページをお願い致します。まず、1点目ですが、誘導施設の設定に関し、「子育て世代に優しい都市、子育て世代の移住促進を図り急激な人口減少に歯止めをかけるため、金剛西及び富田林駅に誘導施設として保育拠点施設を置き、働く若い世代を応援してはと思います。」とのご意見です。

これにつきましては、「鉄道駅近くに保育拠点施設を整備することは、子育て世代にとって、非常に効果のあるものであると考えますが、現在本市担当部局において、ご指摘の計画は現在ない状況であることと、本市では、保育施設については、市域全域に立地が必要との認識の元、誘導施設としては位置づけをしていない状況です。」とのご回答とさせていただこうと考えています。

追加資料3の2ページをお願いします。次に、2点目ですが、誘導施策に関し、「金剛地区は、UR集合住宅が58%を占め、古く時代のニーズに合わないファミリータイプであり、若い世代の住宅需要に応えることができないため、若い世代が居住したくなる住宅及び住宅環境整備を施策として掲げてはどうか。」との意見です。

これにつきましては、「本市金剛地区再生指針の中でも、若年世帯向けの改修住戸の供給等の検討が、取組みの方向として示されていますことから、資料1計画書本編

の 83 ページに、「高齢者、障がい者」のみならず、「若者世帯」を加えることとします。」とのご回答とさせていただこうと考えています。具体的には、追加資料 2 新旧対照表の 1 ページのとおりのお追記を考えております。

次に、3 点目ですが、「本市寺内町について、新庁舎建替と共に、寺内町を含めた面的整備計画の下に進めて、本市の貴重な歴史的文化資産を活かした観光振興にも資するよう配慮する必要があると考えます」とのご意見です。

これにつきましては、「観光の振興につきましては、資料 1 計画書本編の 65 ページに富田林駅周辺の方針として、「歴史遺産等を活かし、賑わいを創出します。」としています。具体的な観光施策につきましては、「富田林市観光ビジョン」に基づき実施致します。」とのご回答とさせていただこうと考えています。

追加資料 3 の 3 ページをお願いします。最後、4 点目ですが、「金剛・金剛東地区と富田林・喜志地区間の「東西地域を結ぶ公共交通の整備」も必要ではないかと考えます。」とのご意見です。

これにつきましては、現在策定中の本市地域公共交通計画の内容と合せて、資料 1 計画書本編の 88 ページ及び資料 2 計画書概要版の 8 ページに、「〇幹線バス軸の形成」を加えることとします。具体的には、追加資料 2 新旧対照表の 1 ページ、2 ページ及び 3 ページの交通施策に関する場所に追記を考えております。

提出されたご意見を踏まえた修正について、委員の皆様にご意見いただいた後、原案を確定させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

以上で、次第 2 「(1) 富田林市立地適正化計画(案)及びパブリックコメントの結果報告について」のご説明とさせていただきます。

【議長：増田会長】

はい、ありがとうございます。ただいまご紹介をいただきましたように、前回の会議以降、最終案に向けて修正、加筆をいただいたところと、パブリックコメントの結果を受けて修正、加筆いただくところのご説明をいただきました。表紙の方は後で議論するとして、まず、目標年度は策定が 1 年ずれ込んだので、機械的に 1 年動かしているだけということですので、大きな問題はないかと思います。それと、もう一つは SDGs のとの関わり、それと、市長のあいさつが入ったというのが追加ですけども、これもよろしいですね。

あと、議論というか、確認をいただきたいところというのは、パブリックコメントで前向きな意見が 4 点出されていて、1 点目の保育拠点というのは、全域的に生活の近辺でつくらないといけないので、あえて都市機能誘導区域の誘導施設には指定しない方が、全市的に展開が図れるということで、そのような回答をするということでございます。あとは、居住誘導区域、それと、地域振興の話、東西交通というところで、居住誘導のところについてはやはり、若年者というところをちゃんと記載するという形でパブコメを受ける。それと、観光・地域振興に関しましては、既に寺内町を意識した記述があるということでございます。東西交通につきましては今、交通政策も議論されておりまして、やはり、東西交通の重要性ということで、幹線バス軸の形成という形でパブコメの意見を受けて加筆するというところでございます。いかがでしょうか

か。

はい、佐久間委員、どうぞ。

【佐久間委員】

目標年次ですけれども、策定年がずれたので機械的にずらしたということで、おおむね問題ないかと思うのですが、少し確認したいことがございます。都市マスとの関係について、都市マスの目標年次と別でいいのか、別でいいというのも考え方としてあると思いますし、合わせるみたいなこともあり得るかなと思いましたが、事務局としてのお考えを伺いたいです。

【議長：増田会長】

いかがでしょうか。事務局、どうぞ。

【事務局：田中】

基本的には、都市マスの目標年次に合わせにいかなくてもいいかと考えています。都市マスの改定があった場合に、それを受けて5年ごとに立地適正化計画も見直しというふうな形でやっていきますので、目標年次自体をそろえるということは考えていないという状況です。

【議長：増田会長】

いかがでしょうか。

【佐久間委員】

分かりました。あくまでも目標の設定の時期であり、都市計画マスタープランの改定を踏まえて、その都度必要に応じて修正されるということであれば構いません。

【議長：増田会長】

他はいかがでしょう。山元委員、どうぞ。

【山元委員】

パブリックコメントの保育拠点についての意見でもよろしいですか。富田林の市立幼稚園とか保育所のあり方の基本方針というのが、まだ決定ではないのですが、今検討している最中で、そこでは富田林の保育園、幼稚園とかというのが、市全体を4地域に分けて配置していくような、そのような形で基本方針のとりまとめを検討しているところです。ですので、市の見解というのは事務局がご提示してくださった回答案でいいと思います。

まだ方針が決定じゃないのですが、中身をすごくしっかり充実させていくという方向で、駅周辺に集約するのではなく、市全体を4地域に分けて適正に配置していくということで、これでよろしいかと思えます。

【議長：増田会長】

既にパブコメの回答というのはホームページに載っているのですか。

【事務局：田中】

本日の議論を踏まえて修正し、掲載する予定です。

【議長：増田会長】

保育施設をなぜ都市機能誘導区域の誘導施設に位置付けてないのかというのが、事務局の回答案では、前向きの回答ではなくて後ろ向きの回答に見えてしまいます。内容は一緒だと思うのですが、誘導施設に位置付けないことで積極的に居住地の近くで拠点整備をしようとしているので、あえて位置付けないということですよ。その言葉がもう少し分かりやすく出たほうがいいのではないかと思います。

ここにあるのは、要するに、「都市機能誘導区域内の誘導施設として位置付けた場合、他の地域で当該誘導施設を建築する場合、届け出が必要になりますというので、位置付けたら反対に他の所での整備が抑制されてしまう可能性があるのでもうしました。」というような、もうちょっと丁寧に説明したほうがいいかもしれないです。「本市には、保育施設については、市域全域に立地が必要であるため、誘導施設としては位置付けをしていない状況です。」というのは、ちょっと上の文章とだぶっている。「現在、本市では保育施設について、市域全域にサービスができるよう、立地を検討中です」のような形でまとめたほうがいいと思います。誘導施設としては位置付けない状況というのは、上の文章で説明できているので。

【山元委員】

基本方針には、機能強化という言葉を使っています。だから、そういうような言い回しをされたほうがいいかもしれません。

【議長：増田会長】

そういう前向きの言葉に置き換えて回答を修正していただくということでよろしいでしょうか。

【事務局：田中】

分かりました。

【議長：増田会長】

他はいかがでしょうか。東西交通についてはこのとおりでいいですよ。東西交通は、もともと試験運用もされていて、東西の交通というのは非常に大きな課題で、立地適正化計画の中でもネットワーク論として非常に重要な所ですので、ぜひとも入れといていただくというのがいいと思います。よろしいでしょうか。

そうしましたら、これまで6回議論を重ねてきて、パブコメも踏まえ、一通り内容としては確定できたのではないかと思います。

あと、表紙ですけれども、ちょっと悩むのが、都市計画マスタープランは、市域のみしか表されていません。立地適正化計画、資料1の案では、鉄道の2路線と都市機能誘導区域が破線の丸で表現されているのですね。これだとどうも居住誘導区域が抜けたような感じになるのでいかがなものかということで、追加資料1にこれを追加していただきました。いかがでしょうか。

【山元委員】

私も本日追加で配付していただいた資料を見たら、こちらの方がいいなと思いました。資料1の表紙は物足りなかったような気がします。

表紙のこともご意見、言わせていただけてよろしいですか。ぱっと見たときにマスタープランの反転なんですけど、いろんなイラストがあり、わくわくとする絵柄ですよ。子どもってこういう絵を描きますよね。縦でもずっとこういうふうを描くので、すごくかわいいなと思いました。それと、自分で、表紙がシンプルな1色のワインカラーということで調べてみたら、ワイン色のイメージは自己回復とか温かさとか柔軟性とか、それからプライドとかという、そういうイメージがあると。そしてまた、色言葉というのは風格とか個性とか自信っていうのがあって、ぴったりだなと思い、すごく自分でもシンプルで1色だけど、すてきななと思いました。

さらに、こっちの方が意図していることが分かるので、後からの方がいいかなと思いました。

【議長：増田会長】

例えば、字句の用語解説のところに、この絵柄は何を意味しているのかというのは、ちょっと説明してもいいような気がするんですよ。富田林の象徴的な施設だとか特産品だとか地形とかいうのを表してますみたいな話を。それと、色も富田林のワインベースにするとか、どういう形で決めた色を使ってますみたいな話があった方が、何を表しているのか非常に分かりやすいので、ちょっとそういう解説したらどうでしょうかね。

【山元委員】

見ながら、自分はどれだけ知っているかなとか、そんなクイズ的な感覚で見えていました。「これ、富田林病院やな。」とか。

【議長：増田会長】

字句の最後の用語解説のところに、表紙デザインという形で、これは要するに今おっしゃっていただいたような、富田林の特徴を表していますというのを入れておくというのはいいんじゃないですかね。

【事務局：田中】

ご意見を踏まえて、表紙デザインのイラストについて説明を追記します。

【議長：増田会長】

いいご指摘だと思います。佐久間先生、区域はぼやかす方がいいのか、あるいはリアリティーあってこれの方がいいのか、どうでしょう。

【佐久間委員】

完全に一意見ですけど、私は追加資料1の表紙の方がいいです。例えば、表紙で概要版とか本編があると思うのですが、表紙だけでも結構コミュニケーション手段になるかなと思いますので、この立地適正化計画の一番のエッセンスを表しているかと思えますので、特段問題なければ、この記述でいいかなと思います。

【議長：増田会長】

表紙デザインのところに「ここには、鉄道2路線と都市機能誘導区域と居住誘導区域を表しています。」というのを用語解説のところに表紙のデザインの解説を入れておいたら、このデザインの意味が分かっていいんじゃないでしょうか。富田林にお住まいの皆さん、表紙のイラストが何を指しているのか全部分かるのですか。

【事務局：田中】

全部が特徴のある施設というわけではありませんので、例えばブランコなどはどこにでもある施設になります。

【山元委員】

市の花であるつつじや特産品のなすなど、分かれると表紙を見て楽しめますよね。

【議長：増田会長】

ありがとうございます。それでは、今後のスケジュールをご説明いただけますか。

【事務局：奥西】

それでは、次第2「(2)今後のスケジュールについて」、ご説明させていただきます。資料4「策定スケジュール」をお願いします。

先ほどご説明しました、パブリックコメントでご提出いただきましたご意見を踏まえた修正を行ったのち、来月14日午前10時に開催を予定しています、都市計画審議会に、都市再生特別措置法第81条第22項に基づき、意見聴取を行わせていただきます。特に意見等がなければ計画策定とさせていただきます、また、同法第81条第23項に基づき、大阪府に送付、そして、令和5年3月末に計画の公表を予定しています。

次に資料2計画書概要版の7ページをお願いします。計画公表後は、都市再生特別措置法に基づき、居住誘導区域外で開発行為等を行う場合、都市機能誘導区域外で誘導施設を有する建築物の開発行為等を行う場合は、届出が必要となります。このため、市ウェブサイトや窓口にて、公表までに届出制度の概要等について、事前周知を行う

予定です。

次に、同じ資料の11ページをお願いします。計画の進行管理につきましては、記載しておりますとおり、概ね5年毎に評価等を行い、今後は、都市計画審議会にてご審議いただくこととなります。

以上で、次第2「(2) 今後のスケジュールについて」のご説明とさせていただきます。

【議長：増田会長】

ありがとうございます。今後のスケジュール等、ご説明いただきましたけれども、いかがでしょうか。何かご意見、ございますでしょうか。

これは、概要版は確定したらどうされるのでしょうか、どこかに刷って配架するのですか、これは。計画書が正式に決定すると、市内の小学校と中学校には配架していただきたいと思います。この計画書は、印刷物は作らないのですか。

【事務局：田中】

学校への配付等については、今後検討させていただきたいです。

【議長：増田会長】

印刷はどうされるのでしょうか。このまま、作らずにウェブ上で公開して終わりということも結構ありますけど。

【事務局：福元】

庁内全課に対して配付は予定しております。計画策定に当たり業務委託をしており、業務の中で、成果品として必要数は印刷しまして、全課に配付する予定にしております。

小学校、中学校におきましては、おそらくですが、都市計画マスタープランの配付まではちょっとしてなかったと思いますので、現時点において配付は考えてなかったのですか、そこも含めて検討させていただきます。

【議長：増田会長】

やはり各種の計画は、小、中学校の1つのコーナーに、市の行政計画というのが、行政がどうなっていますというコーナーがあったほうがいいと思うんですよね。お子さんが市の将来、どうなるんだろうとか、そういうことがウェブで探しにいけないというよりも、図書館で1校に、2、3冊ぐらい配架されていると、いろんなことが学べるのだと思うんですよね。

【事務局：福元】

そこも検討してみます。

【議長：増田会長】

一回、検討いただけますか。

【山元委員】

小学校の3年生が多分、私たちの富田林という学習をし、4年生で大阪府の学習をすることになっているかと思います。3年生の子どもを対象としては、とても内容的には難しいと思うのですけれど。ただ、指導する教師がこういうことを把握して指導するということがすごく大切だと思います。昨今の時代の流れがこういうふうに変ってきてるんだというのを。多分、立地適正化計画ってみんなあんまり意識してないと思うのですが、やっぱりこういうふうに市はコンパクト化して、将来、成り立っていくんやなというのは、教師にとっては勉強になると思うので。教師にとっても、学校に1部でもあるといいかと思います。

【置田委員】

そういうのがあったら商工会も、ぜひともお願いします。

【議長：増田会長】

せっかく作ったのですから。だから、印刷部数と配架する場所、ちょっと考えてみてください。せっかく計画をつくっても、何となく眠ってしまうというよりも、特に今回の場合は届出制度と連動しているのだから、市民生活に直接関わりますし、その辺りはぜひともお願いできたらと思います。

余談ですけど、昨日たまたま、大阪府のヒートアイランド対策技術コンソーシアムでセミナーをしていたんですよ。大阪の緑の在り方みたいな内容について講演していたのですが、講演が終わると3年生のお子さんとお母さんが訪ねて来られて、夏休みの宿題で、その子どもが緑と表面温度との関係性というのを大阪城公園とかいろいろ調べて、「市にこんな木を増やして欲しいみたいな意見を言いたいと思うのですが、そういうのはどこに提出したらいいのでしょうか。」と言って来られました。早速、「いい話やから一度、市に連絡してみます。」という話をしたんですけど、小学生でもそういう意識があって、自分の住んでいる町の予算をどうやって使えたらいいとか、どうよくしていったらいいかというのを、本当に熱心なレポート、書かれていて、ちょっと見せていただいたんですけど。昨日は感動しました、そういう面では。

【佐久間委員】

すごいですね。大学生みたいです。

【議長：増田会長】

それで、スケジュール的にはよろしいでしょうかね。それでは、一応、お預かりしておりました議事については、大体終わったかと思います。この7回という比較的駆け足でつくって来ましたけれども、いろんな意味で、居住誘導区域、安全性を考えてどう設定したらいいとか、今の話で、富田林が子育てにとってどうあるべきとか、いろんな意味でいい意見交換ができたのではないかと感謝しております。委員の皆さま

んと共に事務局のほうにもいろんな意見交換ができて、ある一定のいいプランができたのかと思いますので、感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

今もありましたように、出来上がったのが終了ではなくて、これが多分、都市計画マスタープランの高度化ですから、具体的行動の第一歩を踏み出すということになると思いますので、運用のほど、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは事務局のほうに進行をお返ししたいと思います。

【事務局：田中】

本日はご審議いただき、ありがとうございました。最後に市長の吉村よりごあいさつを申し上げますので、しばらく席でお待ちいただきますよう、お願ひいたします。吉村市長、お願ひいたします。

【吉村市長】

いつも大変ありがとうございます。富田林市長の吉村でございます。立地適正化計画策定委員会で、皆さま方に大変お世話になっておりますので、本日はお礼かたがたごあいさつを申し上げたいということで寄せていただきました。

これまでも増田会長をはじめ、この議論については計7回、深く議論をしていただいたというふうに聞いております。計画を作っていただいて、本当にありがとうございます。この立地適正化計画につきましては人口減少、少子高齢化が進む中で、将来にわたって富田林市がどんなふうにもちづくりを進めていくのかということの方向を指し示していただくものだというふうに思っております。

今回いただいたご意見、この間、担当からも聞かしてもらいましたけど、これを踏まえて、誰もが富田林に生まれて良かったな、これからも住んでいきたいなというふうに思ってもらえるようなまちづくりを進めていきたいと思っておりますので、これを踏まえて、しっかりと富田林市も頑張っていきたいと思っております。

これまで大変ご苦勞いただいたことに感謝を申し上げて、お礼のごあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。

【委員全員】

ありがとうございました。

【事務局：田中】

市長、ありがとうございました。それでは、これをもちまして第7回富田林市立地適正化計画策定委員会を終了させていただきます。委員の皆さまにおかれましてはお忙しい中、2年間にわたり、ご協力いただき、ありがとうございました。この後、当委員会を代表しまして、増田会長から市長に計画書のご報告をいただくことになっております。おそれ入りますが、会長、よろしくお願ひします。